# 製品安全データシート

## １．製品 及び会社情報

**製品名:** ジャスモメート液剤
５％ＰＤＪ液剤

**会社名:** Meiji Seika ファルマ株式会社
**住所:** 東京都中央区京橋二丁目 4-16
**電話番号:** 03-3273-3433
**担当部門:** 農薬資材部開発グループ
**FAX 番号:** 03-3271-1460

**緊急連絡電話番号:** 農薬資材部　開発グループ　（電話番号 03-3273-3433）

**整理番号:** MSDS-21051

## ２．組成、成分情報

単一/混合物の区別:　混合物

| 危険有害成分 | CAS 番号 | 含有量 | 既存化学物質 官報公示番号 化審法 | 既存化学物質 官報公示番号 安衛法 | PRTR 法 種別 | PRTR 法 番号 | PRTR 法 名称 | PRTR 法 含有量 | 安衛法（第 57 条の 2） 番号 | 安衛法（第 57 条の 2） 名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾌﾟﾛﾋﾟﾙ=3-ｵｷｿｰ2-ﾍﾟﾝﾁﾙｼｸﾛﾍﾟﾝﾁﾙｱｾﾀｰﾄ（一般名:プロヒドロジャスモン） | 158474-72-7 | 5% | 対象外（農薬） | 3-(3)-129 | 該当しない | | | | 該当しない | |
| 1-プロパノール | 71-23-8 | 33% | 2-207 | (化)2-207 | 該当しない | | | | 429 | ﾌﾟﾛﾋﾟﾙｱﾙｺｰﾙ |

| 他 含有物 | 含有量 | 既存化学物質 官報公示番号 化審法 | 既存化学物質 官報公示番号 安衛法 | PRTR 法 種別 | PRTR 法 番号 | PRTR 法 名称 | PRTR 法 含有量 | 安衛法（第 57 条の 2） 番号 | 安衛法（第 57 条の 2） 名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 界面活性剤 | 30% | 既存 | 既存 | 該当しない | | | | | |
| 水 | 32% | 該当しない | | | | | | | |

## ３．危険有害性の要約

最重要危険有害性:　引火性があり、眼に対して強い刺激性がある。
有害性:　眼に対して強い刺激性がある。
物理的及び化学的危険性:　引火性液体である。
分類の名称（分類基準は日本方式）:　引火性

## ４．応急措置

吸入した場合:　患者を直ちに新鮮な空気のところに移し,安静,保温に努め,速やかに医師の手当てを受ける。呼吸が停止しているときは,直ちに人工呼吸を行うとともに,医師の診断を受けさせる。
皮膚に付着した場合:　汚染した衣服を脱ぎ,付着した部位を多量の石鹸と水で洗い流す。
皮膚に炎症を生じた場合は医師の手当てを受ける。
目に入った場合:　直ちに多量の正常な流水で 15 分以上洗眼し,医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合:　多量の水又は食塩水を飲ませて吐かせ,直ちに医師の手当てを受ける。

## ５．火災時の措置

消火剤:　　粉末消火剤,二酸化炭素,泡消火剤
特定の消火方法:　火元への燃焼源を断ち,消火剤を使用して消火する。また,周囲の設備等は散水して冷却する。
消火作業は風上から行う。
消火を行う者の保護(保護具など):　場合によっては呼吸用保護具を着用する。

## ６．漏出時の措置

人体に対する注意事項:　作業の際には必ず保護眼鏡,保護長靴,保護手袋,場合によっては呼吸用保護具を着用する。
環境に対する注意事項:　公共用水域に流さないように留意する。
除去方法:
・大量の場合、容器･タンクからの流出防止を行う。ポンプ等により回収して密栓できる金属容器へ移し変える。回収できなかったものは、活性炭による吸着、ウエス等によりふき取り安全な場所で焼却する。
・付近の人を風上に避難させ、漏出現場へ立ち入りを禁止する。付近の着火源となるものを取り除く
・少量の場合は活性炭による吸着、ウエス等によりふき取り安全な場所で焼却する。
二次災害の防止策:　火災防止のため、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

## ７．取り扱い及び保管上の注意

取扱い:
技術的対策:
・消防法等関連法規に準拠して作業する。
・吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
・引火性であるため、蒸気の発散を抑えるとともに周りに着火源となるものを置かない。
注意事項:
・屋内作業の場合、適切な排気装置を設ける。
・漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
安全取扱い注意事項:
・着火源の近くで作業しない。
・容器の栓は、必要なときのみ開栓し、常時密栓しておく。
・容器を転倒させ、衝撃を加え、又引きずる等の粗暴な取り扱いをしない。
保管:
適切な保管条件
・　局所排気装置を設置し、換気のよい場所で行う。適切な保護具を着用し、液滴を吸い込んだり、眼、皮膚に触れないようにする。作業後は、すみやかに眼、手、顔を洗い、うがいをする。
技術的対策:
・床面等は、万一、漏洩があっても公共水域への流出及び地下への浸透が起らないようにする。
・容器中に窒素を封入し、冷暗所に保存する。
混触禁止物質:
・強酸化剤との接触をさける。
推奨される容器包装材料:
・金属　及びポリエチレン容器

## ８．暴露防止措置及び保護措置

設備対策:
・取扱い時容器にはアースを設置する。
・取扱い場所の近くに洗身シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。
・密閉した装置または局所排気装置を設置する。
保護具:
呼吸器の保護具:　　呼吸用保護具
手の保護具:　　耐溶剤性手袋
目の保護具:　　保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具: 状況に応じて保護衣、保護長靴などを使用する。

## ９．物理的及び化学的性質

物理的状態:
形状:　液体
色:　無色ないし淡黄色
臭い:　得異な臭い
ＰＨ:　６．１
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲:
引火点:　３３．０℃（タグ密閉式）
比重:　０．９５５（２０℃）
溶媒に対する溶解性:
水:　可溶
アルコール、ケトンに可溶

## １０．安定性及び反応性

安定性: 通常条件では安定
反応性:　特になし
危険有害な分解生成物: 知見なし

## １１．有害性情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 急性毒性: | 経口 | ラット | ＬＤ50 ＞ ５０００ｍｇ/ｋｇ |
| | 経皮 | ラット | ＬＤ50 ＞ ２０００ｍｇ/ｋｇ |
| | 吸入 | ラット | ＬＤ50 ＞ ０．５ｍｇ/Ｌ |
| 局所効果: | 皮膚刺激 | ウサギ | 刺激性なし |
| | 眼刺激性 | ウサギ | 強い刺激性あり |
| 感作性: | 皮膚感作性 | モルモット | 感作性なし |

## １２．環境影響情報

移動性: 物理的化学的性質等を考慮すると、大気・水域・土壌に移動しうる。
残留性／分解性：
生態毒性：
水棲生物への影響：
急性毒性：コイ　ＬＣ50 １６０ｍｇ/Ｌ(２４時間), ７７ｍｇ/Ｌ(９６時間)
オオミジンコ　ＥＣ50 ＞２００ｍｇ/Ｌ(２４時間), ６０．２ｍｇ/Ｌ(４８時間)
生長阻害：藻類(Selenastrum capricornutum) (生長曲線下面積の比較)
ＥｂＣ50　１０７ｍｇ/Ｌ（０－７２時間）
ＮＯＥＣｂ　３５．０ｍｇ/Ｌ（０－７２時間）

## １３．廃棄上の注意

残余廃棄物:
「取扱い及び保管上の注意」の項の記載事項に従って廃棄する。
大量の場合: 焼却等環境汚染とならない方法で処理･処分する。処理等を外部の業者に委託する場合には都道府県知事等 の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
少量の場合: 活性炭による吸着、ウエス等によりふき取り安全な場所で焼却する。
焼却する場合:　引火性であるため、蒸気の発散を抑える。
汚染容器・包装:
金属性容器等はアルコール等水溶性液体で洗浄後、大量の水で洗浄する。可燃性容器等は焼却する。

## １４．輸送上の注意

注意事項:①堅牢で容易に変形、破損しない容器に入れ、密栓して輸送する。
②運搬に際しては容器から漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

## １５．適用法令

農薬取締法：　登録番号２１０５１（ジャスモメート液剤）
労働安全衛生法:　引火性の物
労働安全衛生法第 57 条の 2 ：　「2. 組成、成分情報」の記載通り
消防法:　危険物第四類第二石油類(水溶性液体)　危険等級Ⅲ

## １６．その他の情報

記載内容の取り扱い:
この「製品安全性データシート」は現時点で当社が入手した資料、情報、データに基づいて作成しております。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。また、本記載内容は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な扱いに際してはこれを参考とし、自らの責任において適切な安全対策を実施のうえ、ご使用下さい。